

水辺の利活用について

1 区内の水辺の現状（4つの水辺エリアの特徴）

天王洲エリア
レストラン等の商業施設や棧橋があり、地域主体のイベントが活発





京浜運河エリア
運河沿いに大規模な公園や団地が立地し、地域住民の生活の場として利用





目黒川エリア
桜並木は都内有数の散策ルート、イベントも盛んで舟運ルートとしても人気





勝島エリア
運河沿いの植栽の管理、非動力船や環境学習の活動等、地域主体の活動が盛ん



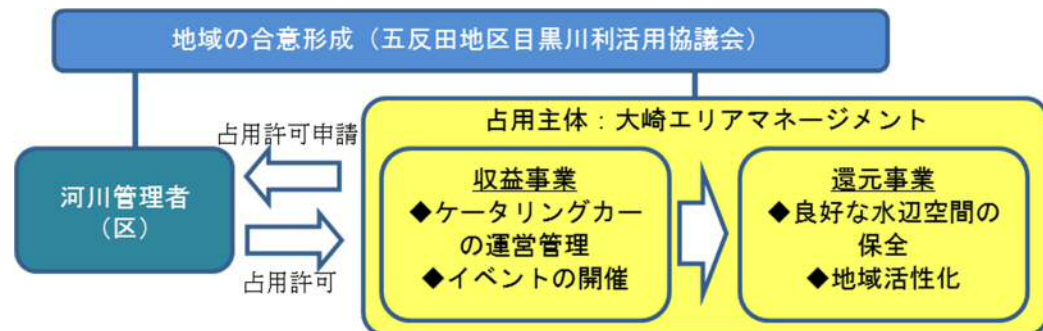

2 水辺のにぎわいの種類と区の事例

にぎわいの種類	他都市の事例	品川区内の主な事例
① 商業飲食の魅力の充実	[大阪市堂島川等] ・川の駅はちけんや、湊町リバープレイス、中之島バンクス等 [名古屋市堀川] ・ほとりす、テラスセナ屋橋	[天王洲] ・地元企業のレストラン [目黒川] ・さくらてらす五反田
② 舟運の活性化	[大阪市大川等] ・定期船、チャーター船 [広島市太田川等] ・雁木タクシー [福岡那珂川] ・那珂川水上バス	[天王洲] ・屋形船、クルーズ船 [目黒川] ・お花見、夜間のクルーズ船等
③ 水上アクティビティの利用向上	[福岡那珂川] ・SUP体験	[天王洲] [勝島] ・地元団体によるカヌー、Eボート体験
④ 花や緑と散策の充実	[大阪府道頓堀川] ・とんぼりリバーウォーク [名古屋市堀川] ・納屋橋遊歩道 [東京都隅田川] ・隅田川テラス	[天王洲] ・天王洲アイル水辺広場 [目黒川] ・目黒川の桜並木 [京浜運河] ・京浜運河緑道公園 [勝島] ・しながわ花海道
⑤ 夜間景観（ライトアップ）の魅力向上	[大阪市土佐堀川等] ・中之島周辺のライトアップ [広島市元安川] ・広島ドリミネーション [東京都隅田川] ・隅田川橋梁群	[天王洲] ・地元企業によるライトアップ [目黒川] ・みんなのイルミネーション
⑥ イベントの活用推進	[広島市元安川] ・水辺のコンサート [大阪市大川等] ・水都大阪フェス [名古屋市堀川] ・堀川フラワーフェスティバル、ウォーターマジックフェスティバル、なやばし夜イチ等	[天王洲] ・天王洲キャナルフェス ・しながわ運河まつり [目黒川] ・目黒川夜市、冬の桜フェスタ [水辺4エリア] ・しながわ水辺の観光フェスタ

3 水辺の利活用の取り組み

(1) 河川・運河の利用促進 (①商業飲食、⑥イベント)

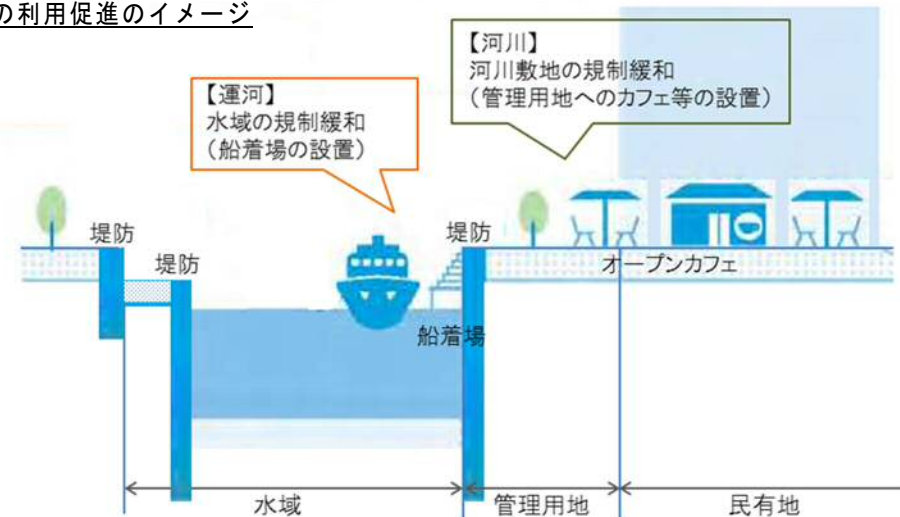
目黒川では、河川敷地占用許可準則を活用した社会実験として、ケータリングカーの運営やイベントを行ってきた。今年度より、大崎橋広場および五反田ふれあい水辺広場を指定区域とし、「(一社)大崎エリアマネジメント」が占用主体となり、本格実施を行っている。



運河では、運河ルネサンスとして「品川浦・天王洲地区」および「勝島・浜川・鮫洲地区」が指定され、水辺の賑わいを目的とした水域占用の規制緩和が図られている。

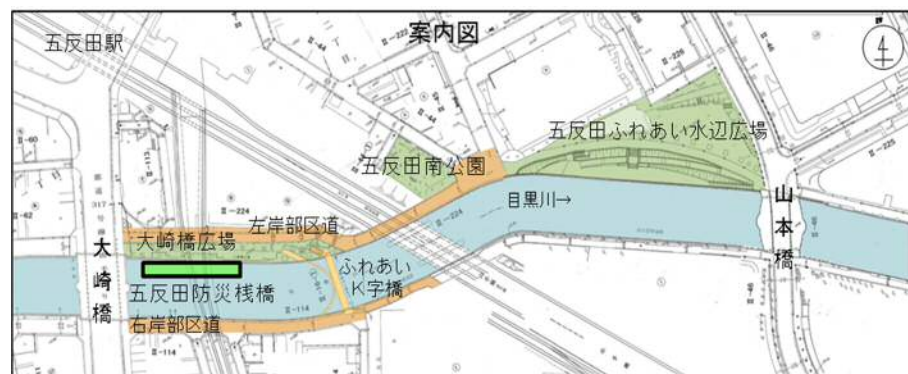
地域ごとの利用形態を踏まえ、地域を主体とした水辺空間の一層の充実を図っていく。

水辺の利用促進のイメージ



(2) 五反田水辺が結ぶプロジェクト (②舟運、④花や緑と散策、⑥イベント)

川と人、住む人と働く人、地域と来街者をそれぞれ結ぶ場所として、防災栈橋と周辺の道路・公園を一体的に整備し、五反田に水辺の賑わい拠点を創出する。平成 31 年 12 月のオープンを目指し進めていく。



(3) 区有栈橋のリニューアル整備 (②舟運、③水上アクティビティ)

区有栈橋を防災機能としての役割だけでなく、舟運および水辺のにぎわい拠点として活用することを目的に、栈橋のリニューアル整備を行う。

平成 30 年度は品川天王洲栈橋の照明設備の設置を行い、引き続き、東海橋防災船着場およびしながわ水族館栈橋の照明、連絡橋等の改修、東品川海上公園拡張にあわせた栈橋改修を進める。

(4) 区有栈橋の管理運営検討 (②舟運、⑥イベント)

舟運や水辺の賑わいに資する栈橋の管理運営手法について検討する。利用のルール、地域資源として活用する視点などから、他都市の事例も踏まえ検討する。

(5) ヒカリの水辺プロジェクト (⑤夜間景観)

区内の水辺が多くの人でにぎわう観光・交流の軸となることを目指し、橋梁や護岸等公共施設のライトアップを実施する。

平成 30 年度は目黒川下流の品川橋、新品川橋、荏川橋の工事を実施し、順次、目黒川、京浜運河、天王洲の橋梁・護岸等のライトアップを進める。

なお、平成 30 年度、舟運社会実験に伴う目黒川ライトアップとして、「目黒川みんなのイルミネーション 2018」と時期を合わせて、居木橋上下流の護岸と三獄橋桁下の護岸を仮設の LED 照明によりライトアップする。



(6) 水辺千本桜計画 (④花や緑と散策)

区内の水辺空間の魅力アップや、にぎわい創出の資産である桜を 2020 年までに千本に増やす「品川区水辺千本桜計画」を実施する。ふるさと納税として寄附を募集するなど、区民等との協働による桜の植樹を進める。



(7) 水質改善、河川清掃 (②舟運、③水上アクティビティ、⑥イベント)

河川、運河の水質調査を継続するとともに、目黒川では、城南河川清流復活事業として再生水の導水、河川浚渫を継続して行う。立会川では、JR トンネル湧水の導水、高濃度酸素溶解水の運転、地域との環境美化運動を継続する。

都へは引き続き、目黒川の浚渫、合流改善施設の整備、立会川雨水放流管の早期完成を求めていく。